

令和元年度 事業報告

1 会議の開催

●幹事会の開催

- ・日時：令和元年6月13日（木）14：00～14：25
- ・場所：（公財）北九州産業学術推進機構 技術開発交流センター1F中会議室
- ・議事：総会議案の協議、市内発ロボット創生事業審査会

●総会の開催

- ・日時：令和元年6月20日（木）13：00～13：30
- ・場所 西日本総合展示場新館横 AIM ビル3階F展示場
- ・参加者34名

●セミナーの開催

①北九州ロボットフォーラムセミナー

- ・日時 6月20日(木) 13：45～15：45
- ・場所 西日本総合展示場 AIMビル3階 314・315 会議室
- ・参加者99名

1) 定期総会記念講演

- ・テーマ：次世代ロボットの開発動向と新しい応用の展開
- ・講師：国立開発研究法人 産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター
研究センター長 比留川 博久 氏

2) ロボットビジネスピックアップ

- ・テーマ： ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業
- ・講師：北九州市 産業経済局 産業イノベーション推進室
ロボット・成長産業担当課長 小溝 修 氏

3) 平成30年度市内発ロボット創生事業 成果報告

- ・テーマ：“ロボットの街北九州”を実現するロボット教育用プラットフォーム
- ・講師：株式会社クアンド 代表取締役 CEO 下岡 純一郎 氏

2 研究開発の支援

北九州市で生まれたロボットが実際に導入され、製品化・商品化につながるように、市場を見据えた研究開発プロジェクトを促進した。ユーザーとのマッチングや公的研究開発助成の獲得支援など、コーディネート活動を行った。

●市内発ロボット創生事業

令和元年度は下記テーマによる試作を通じ、市内ロボット産業の振興を支援。

テーマ：柔軟物把持のための可変剛性ハンドの研究開発

リーダー：九州工業大学 准教授 西田 裕也 氏

活動期間：令和元年7月1日～令和2年3月31日

研究グループ：九州工業大学、株式会社石川鉄工所、FAIS

活動概要：ロボット適用分野の拡大を目的に、事前に把持対象の詳細な情報や把持方法を入力することなく様々な形状や硬さの物体を把持できる可変剛性ハンドの開発を行った。

3 人材育成の推進

●生産性向上スクール

基礎から中級レベルまで幅広く知識を習得いただくために、システムインテグレータ候補者を対象として、以下の6講座（延べ14回）を開講し、延べ受講者数66名を育成しました。

- 1 産業用ロボット基礎講座
- 2 ロボット活用講座
- 3 ロボットビジョン講座
- 4 協働ロボット体験講座
- 5 ロボットシミュレータ活用講座
- 6 ロボット・IoT連携体験講座

●その他人材育成活動

下記イベントを通じ産業用ロボット導入支援センターの紹介やロボット操作体験を行い、地域学生等への人材育成活動を支援しました。

- ・ 北九州市立大学公開講座「ひびきの機械教室と学研都市体験会」
- ・ 早稲田大学「北九州魅力企業インターンシップ」

4 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報や北九州ロボットフォーラムの活動を発信した。

●展示会の開催

- ・ ロボット産業マッチングフェア北九州2019(西日本総合展示場新館)
期間 令和元年6月19日(水)～21日(金)
出展数 20社・団体、33小間
来場者 31,672名(3日間合計)

●展示会への出展

- ・ 2019国際ロボット展(東京ビッグサイト)
期間 令和元年12月18日(水)～21日(土)
出展数 5社・団体、6小間
来場者 141,133名(4日間合計)

●後援・協力

- ・ 第6回トマトロボット競技会 令和元年12月6日～8日(学研都市会場)
- ・ 九州SIer DAYS 令和2年1月21日～22日(北九州国際会議場)